

御担当医御侍史

突然書面にて失礼いたします。東京女子医科大学病院関連医療機関のバイオセラクリニックと申します。この度、ご加療中の患者様から当クリニックへ診察を希望されるにあたり、温熱療法という概念をご理解頂きたく、ご説明とともにお願いをさせていただきます。

当クリニックは東京女子医大消化器外科で臨床研究グループである癌免疫療法チームを母体に、臨床試験等の対象外でも治療を希望される方を対象に医療を提供できる施設として 2001 年に開設いたしました。

基本的には樹状細胞を用いたワクチン療法と活性化リンパ球療法を、さらに局所／全身の温熱療法も行っております。今回、このうち温熱療法に関してご興味を持っていらっしゃる事よりご説明させていただきます。

がんに対する温熱療法は単独での効果を得るのは難しいものの、放射線治療、化学療法、免疫療法等においては相乗効果を期待し、**risk** を上げずに **benefit** を増やす方法として利用されております。この理論的根拠は以下の通りです。

1：腫瘍組織内の新生血管の拡張が **thermal regulation** に対応できず、時間差が生じて遅れることで、腫瘍組織内に相対的に血流が豊富になることが考えられます。これにより抗がん剤の組織内濃度の相対的上昇や、酸素濃度上昇に伴う酸素効果による放射線治療の増強効果などにつながる事が想像されます。

2：がん細胞が高い温度にさらされた場合（これが殺傷性のある 42 度以上にならなくても）熱ストレスタンパク（おもに **HSP70**）を介してがん細胞表面上に特異抗原の発現が増すことで、免疫原性が高まることが報告されています。

温熱療法は加温する方法により、全身温熱療法と局所温熱療法があります。局所温熱療法の場合は一部健康保険の適応にもなっております。どちらの治療の適応があるかなどは患者様の診察時に診断しご説明することになります。

この度、患者様からご相談を受けるにあたり、誠に勝手ではございますが、これまでの治療経過、腫瘍マーカーを含めた血液データ、現状のがんの状態がわかる資料、今後の治療予定などご教示頂ければ幸いです。ご協力の程、よろしく願いいたします。

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-6-12 MF 新宿ビル

医療法人バイオセラ会 バイオセラクリニック

院長 谷川 啓司